

## ◇令和6年度 北海道岩見沢高等養護学校 学校運営協議会 委員◇

- ・横山 孝博 様 (岩見沢あかり家 施設長)
- ・黄瀬 信之 様 (岩見沢市情報政策部 部長)
- ・細川 和則 様 (社会福祉法人 北海道社会福祉事業団  
福祉村 総合施設次長)
- ・瀬尾 正徳 様 (新東町団地自治会長)
- ・大山 祐太 様 (北海道教育大学岩見沢校 准教授)
- ・疋田 博和 様 (岩見沢市立東小学校 校長)
- ・横田 佳奈 様 (岩見沢市立東小学校 PTA 会長)
- ・嶋津 美樹子 様 (北海道岩見沢高等養護学校 PTA 会長)
- ・櫻田 なおみ (本校 校長)

### 令和6年度 第1回 学校運営協議会 (記録)

1 日 時 令和6年7月10日(水) 13:30～15:30

2 場 所 北海道岩見沢高等養護学校 会議室

3 次 第

○委嘱状交付 後日交付。

○校長挨拶

○運営者自己紹介

○運営協議会委員自己紹介

○委員長、副委員長の選任

委員長…横山 孝博 様      副委員長…黄瀬 信之 様

○日程説明

○授業見学(第5校時)

各教室、体育館などでの学校祭に向けての取組の様子や寄宿舍見学を行う。

○説明・意見聴取

(1) 令和6年度学校経営方針について(校長)

今年度「共生社会の一員として、より豊かに幸福に生きていくための資質、能力、意欲を高める」を入れたのが前年度との違い。また、自立活動の指導という視点を通して、卒業後の生活に必要な力を育てていきたい。社会と繋がる教育活動を進めていきたい。地元との空間的・時間的なつながりを大切にしつつ“岩見沢”で生活していたという記憶を一人一人が留めることができればという思い。

ICTを活用して、それぞれの生活で活かせるような能力を身につけ、心身ともに豊かに自己実現を図ることができるよう、この3年間を生徒それぞれに有意義に過ごせるよう教職員一同で支援していきたい。

→質疑なし。承認を得る。

## (2) 本校の教育活動に関わる説明

生徒の個々の習熟度や特性に合わせて習熟度別グループでの学習や進路支援について説明した。また、高文連などの課外活動への参加についても説明した。

## (3) これまでの主な教育活動の報告

資料により説明した。

## 4 協議

テーマ「地域とのつながりを深め、学びのつながりを深め広げる“岩見沢高等養護学校”  
～社会人としての基盤づくりにつながる 高校生活の学びと体験の拡充～

### ◆ 協議の内容・各委員からの意見など

<生徒の主体的活動について>

- 生徒が主体的に関わろうとしている姿に変化を感じた。
  - 生徒に探究学習などで他の高校の生徒さんと一緒に学ぶ機会を設けたいと思う。他の高校や地元の人たちとの交流を通して「外に出て交流する」という機会を設けていく手伝いができたらと考えている。テレワークによる仕事も盛んになってきているので、卒業後の進路を具体的に考える機会を今年度も設けるお手伝いをしていく。
  - 生徒さんが車いすで学校の周囲を巡ったり、バスを待っている姿を見たりしたが、最近は見られないように感じている。
- >在校生の減少はあるが、外に出る機会を学校としても積極的に設けていきたい。また、学校として地域と関わる機会を作っていきたい。
- 地域の防災行事に参加してはどうだろうか。
- >今後、地域に協力いただいて防災の取り組みを行いたい。
- 生徒さんが近隣のスーパーマーケットに買い物に行く姿を見ていて、国道近くの信号までぐるっと回って道路を横断する現状は生徒さんにとっても大変だと感じている。地域として、現状の改善のため岩見沢市など関係するところに働きかけていきたい。

<水害など防災対策について>

- 学校のすぐ横を流れる利根別川は過去に越水などの水害が発生した際の学校の対応はどのようなになっているのだろうか。
- >昨年の避難訓練で、市の担当の方に伺ったところ、本校付近は川の氾濫よりも降雨（線状降水帯による局地的豪雨）による水害はあり得るとの説明を受けている。
- 寄宿舎からの避難には移動手段、受け入れ側の準備、介助の人手など市の防災担当部署として災害発生前に学校側と具体的な取り決めに検討するよう働きかけるのが重要だ。
- >今年行った「防災学校」の取り組みで、市の協力を得て避難所で使用する数種類のパーティションを設置して実際に車いすの生徒に試してもらったところ、種類によってはファスナーで開閉する入口の下側が車いすで乗り越えるには難があるなど使いにくかったり改善が必要な点がいくつも見つかリ、岩見沢市から業者へ改善の要望を出そうということになった。災害時に使用する物品を平時に実際に試しに試してみるこ

の大切さを実感した。

○学校に防災士の資格を持っている職員はいるか。

＞職員で防災士の資格を持っている人、研修を受けている人はいない。A E Dの研修は岩見沢市消防署の協力で毎年実施している。今後は生徒も研修を受ける機会を設けることができないだろうかと考えている。

○校長挨拶